

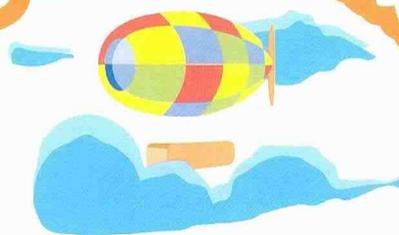


NO.74
SHIMIN PHOTO
市民フォト

庄比見島

平成10年10月1日発行

わがまち上空散歩



北ふ頭上空から

写真中央に広がる人工島。ご覧の写真は、鹿児島港本港区北ふ頭上空から撮影したものです。

人工島にある青色屋根の建物は、北ふ頭ターミナルビルと倉庫群。平成五年にできた建物は明るく機能的で、現在、種子島、屋久島航路などの発着拠点としてにぎわっています。

さらに、その奥に目を転じると、銀色に輝く八面の大屋根。錦江湾を泳ぐエイの姿をイメージしたこの建物は、かこしま水族館です。昨年五月の開館以来、多くの市民や観光客が訪れています。

水族館と水路を隔てて見えるのが、波打つ屋根が特徴の桜島フェリーターミナルビル。今年四月に完成した真新しいターミナルビルは、旧ビルの約三倍の広さ。観光かこしまのイメージアップにも貢献しています。変ぼう著しい本港区周辺、今後まだまだ変わっていきそうです。



CONTENTS

「特集」自然遊歩道を訪ねて……………	3
クローズアップ	
●石原和弘さん……………	12
ハロー！鹿児島	
●国際交流林間学校……………	14
シティーアングル	
●空間の気持ち……………	15
カメラトビックス……………	16
学校探訪	
●福平小学校……………	18
わたしの好きな場所	
●木原二郎さん……………	20
ふるさとの歴史探訪	
●なせ偉い!?……………	22
西郷と大久保……………	22
あなたのフォトサロン	
●谷 清美さん……………	24
よかタイム	
●濱田快政さん……………	26
かこしまの自然	
●平松・竜ヶ水にて……………	27
市民ギャラリー	
●武・田上公民館……………	28
市立美術館	
●田園の夕暮……………	30
誌上市営施設見学会	
●市消費生活センター……………	31

●表紙写真について

さわやかな秋の風に誘われて、慈眼寺公園にやってきました。花の広場でコスモスを楽しんだ後は、芝生広場でお弁当です。お父さんの大きなおにぎりを、乳歯が生え始めた赤ちゃんがじっと見つめています。

自然の中で過ごす一日。次ページからの自然遊歩道特集もご覧ください。

自然遊歩道を訪ねて

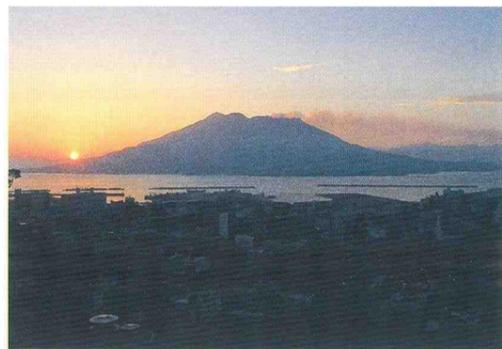


雄大な桜島と波静かな錦江湾。そして、美しい山々に囲まれた鹿児島市。そこには私たちの生活に潤いと安らぎを与えてくれる自然がいっぱいあります。秋の一日、市街地の喧噪を離れて、自然遊歩道で過ごしてみませんか。

城山自然遊歩道

照国神社横の探勝園からと、岩崎谷の薩摩義士碑から入るコースがあり、市街地の中にあるすばらしい自然を觀賞しながら城山展望台へ至ります。所要時間は約30分（コース総延長は約2キロメートル）で、軽装で気軽に利用できるコースとなっています。

《一口メモ》 国の天然記念物に指定される程豊かな自然に包まれていますが、西南戦争最後の激戦地で、周辺にはそれをしのぼせる跡がたくさんあります。かごしま近代文化館・かごしまメルヘン館などとあわせてどうぞ。



城山から見る日の出



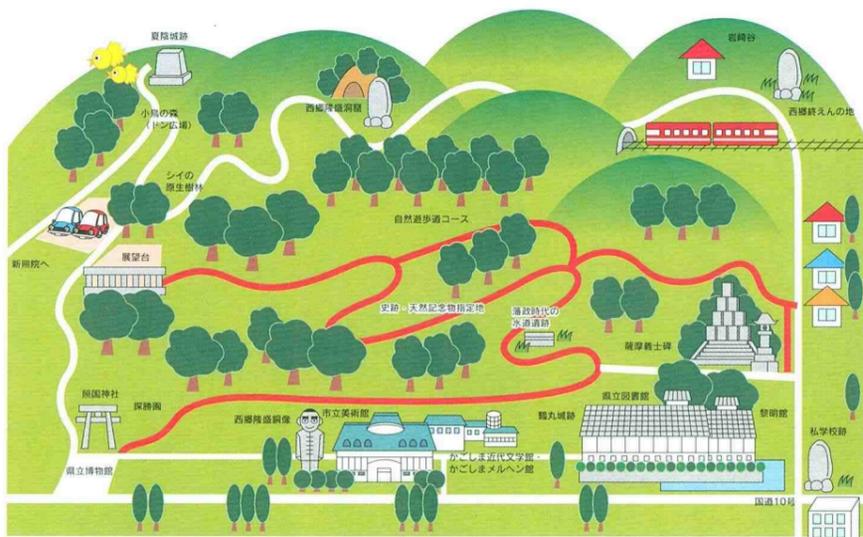
展望台での朝のラジオ体操



仕事の合間にリフレッシュ



気軽にジョギングやウォーキング



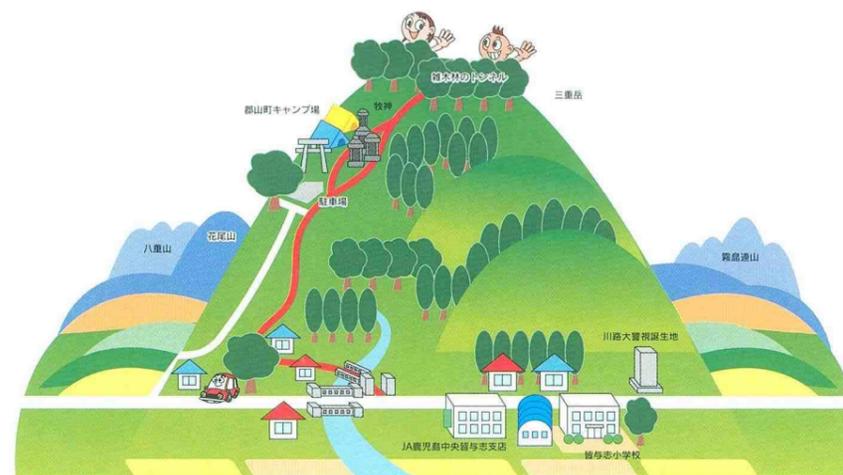
三重岳自然遊歩道

農協前バス停から、標高486メートルの三重岳山頂までの約4キロメートル（所要時間約1時間30分）のコースです。山頂からは眼下に鹿児島市街地や錦江湾、眼前には桜島を望むことができ、空気が澄んで晴れた日には、遠く桜島連山や大隅半島、開聞岳などを見渡すことができます。

《交通》 林田バス丸岡行・農協前下車
《一口メモ》 軽めの登山コースですが、長袖、長ズボン、帽子、運動靴といったスタイルが適当です。水筒を持参しましょう。郡山町側から車で山の中腹まで登ることができますが、せつかくの自然遊歩道です。麓から歩きましょう！



朝のすがすがしい空気の中で（山頂から）



雑木林のトンネル（山頂はもうすぐ！）



寺山自然遊歩道

市街地の東北に位置する吉野台地にあり、自然の景観に恵まれた約2.5キロメートル（所要時間約1時間）のコースです。近くの寺山展望台からは眼下に錦江湾、眼前には桜島を望むことができ、始良・国分方面や霧島連山、大隅半島、薩摩半島を見渡すことができます。

《交通》 南国バス宮之浦団地行・三州原学園前下車徒歩10分
市営バス吉野線（6番線）・上之原下車徒歩30分
《一口メモ》 起伏が少なく歩きやすいコースです。西郷南洲翁開墾地遺跡や島津斉彬公炭がま跡など郷土の歴史の勉強にもなります。コースの一部は車が通る道路です。ご注意ください！近くの寺山展望台にもぜひお立ち寄りください。



森林浴でリフレッシュ



烏帽子岳自然遊歩道

JR平川駅から烏帽子岳（標高521.9メートル）山頂まで約4.5キロメートル（所要時間約2時間）の登山コースと錦江湾公園から烏帽子岳山頂まで約8.4キロメートル（所要時間約3時間）の平川動物公園コースがあります。両コースとも豊かな山の緑、わき出る清水、野鳥のさえずりや昆虫の飛び交う様子が楽しめます。

《交通》（登山コース）

JR指宿枕崎線平川駅下車
鹿児島交通バス指宿方面行・平川下車
（平川動物公園コース）

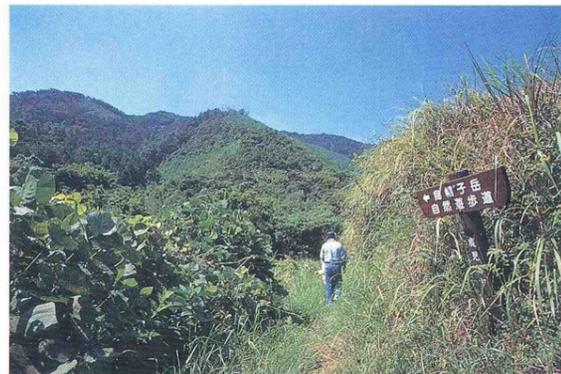
鹿児島交通バス平川動物公園行・錦江湾公園入口下車

《一口メモ》

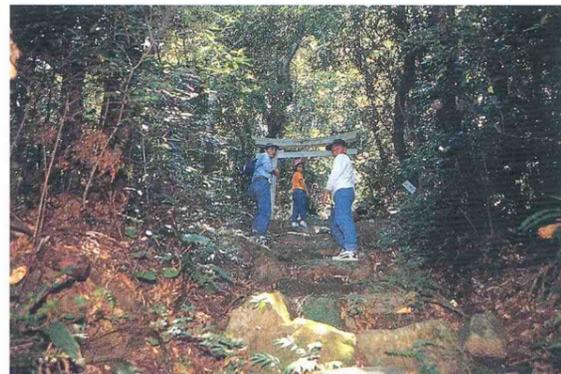
両コースとも本格的な登山コースです。幼児や小学3年生以下にはかなり厳しいコースです。長袖、長ズボン、運動靴が必要です。飲み物・食べ物の準備も忘れずに。眺望が開けたところはそう多くありません。



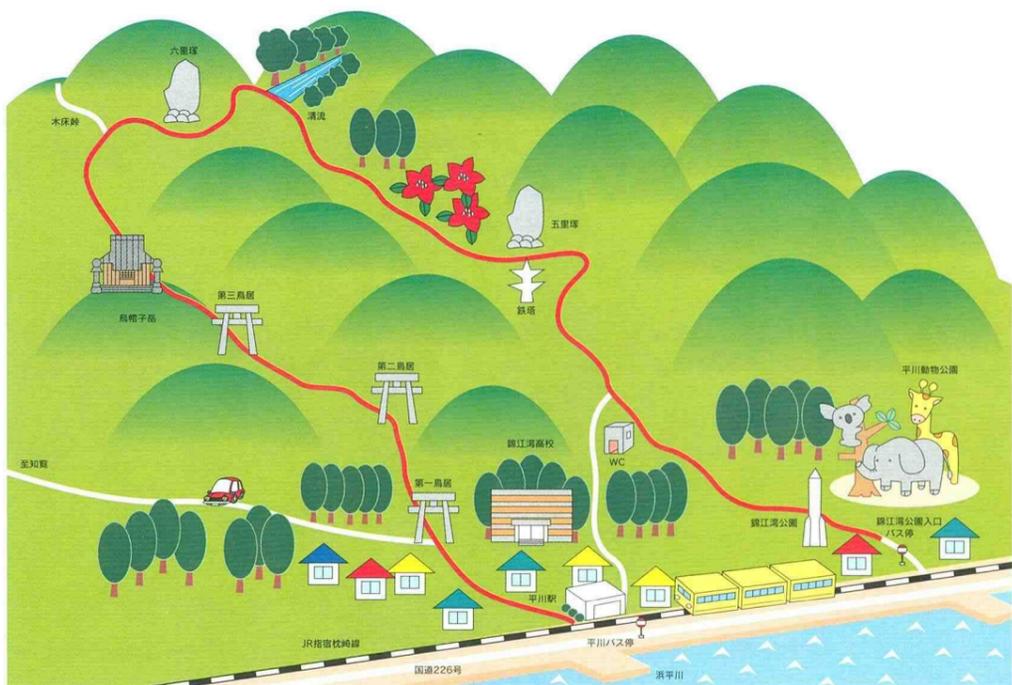
気持ちいい！



目指すは…



頂上まであと一步！

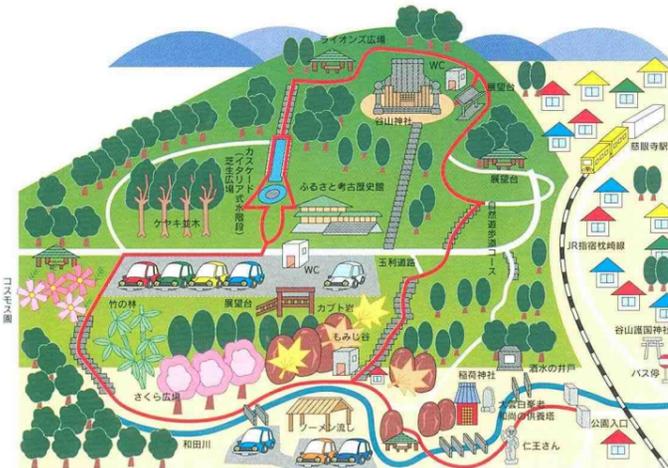


慈眼寺自然遊歩道

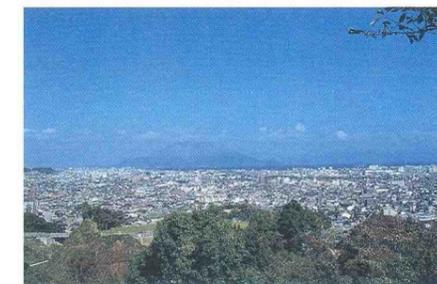
慈眼寺公園バス停近くの入口から公園に入り、和田川沿いの清流を歩きます。そして、さくら広場から花の広場に上り、さらに展望台まで上ります。所要時間は約1時間（コース総延長は約3キロメートル）で、季節の植物や野鳥、昆虫などが楽しめます。

《交通》 市営バス谷山線（14番線）または慈眼寺・与次郎線（33番線／月～金のみ運行）・慈眼寺公園下車
鹿児島交通バス慈眼寺団地行・慈眼寺公園下車
JR指宿枕崎線・慈眼寺駅下車徒歩10分

《一口メモ》 ふるさと考古歴史館や芝生広場、ソーメン流しなど、いろいろな楽しみ方があります。花の広場は10月下旬までコスモスが見ごろです。お弁当を持って行きましょう。



展望台から見る谷山市街地



清流に沿って遊歩道が続く



至るところに清流が



川は川辺町へと流れ、東シナ海に注ぐ

錫山自然遊歩道

下福元町錫山から金峰町および川辺町との境を通り、国道225号向原まで（所要時間約4時間）と、松ヶ野から錫山までの総延長15キロメートルのコースです。コース沿いでは、緑の中の清流や田園風景など豊かな自然に接することができます。

《交通》 鹿児島交通バス大坂経由加世田行・錫山下車

指宿、川辺、枕崎方面行・向原下車

《一口メモ》 難易度は高くないものの距離の長いコースです。飲み物・食べ物の準備を忘れずに。コースは錫山地区住民の生活道路です。往来には十分気をつけてください。



鹿児島市の自然について、市長に聞く



赤崎義則鹿児島市長

鹿児島市の自然についてどのような思いをお持ちですか。

自然は私たちの日々の暮らしに安らぎを与えてくれます。そして、災害防止や水源涵養などにも大きな役割を果たしています。ところで、私も住む鹿児島市には豊かな自然があふれています。市街地の周辺部には自然いっぱい、農村地域が広がっており、城山・多賀山・慈眼寺など市街地に隣接して、市民を緑で抱きかかえているかのようです。この豊かな自然は、私どもの祖先から何代にもわたって守り育てられてきたものです。私も鹿児島市の誇りであるこの自然を守り育て、次の世代に引き継いでいかなければならないと思います。

自然遊歩道の効用についてどのようなことが考えられますか。

市民の皆さんの多くは市街地に住んでおり、日常生活の中で自然とふれあう機会はありません。そのような市民の方々のために市においては自然を満喫することができるようさまざまな施設を整備してきました。ぜひ健康の森公園や錦江湾公園、慈眼寺公園で自然を楽しんだり、自然遊歩道でさわやかな

ご自身と自然とのふれあいにはどういったものがありますか。

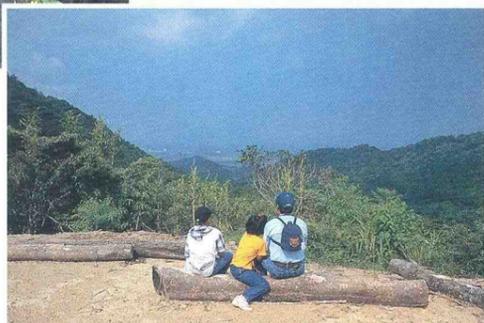
私は東市来町で生まれ育ったので、自然の中で成長してきたといえます。そして今振り返ってみると、あらためて自然のありがたさや自然のすばらしさを感じられます。現在、私は城山団地に住んでいますので、暇を見つけては城山の自然遊歩道を歩いたり、付近をウォーキングしたりして豊かな緑にふれています。また、鉢物いじりが好きですから、植物と語り合いながら、静かな一日を過ごすようにしています。鹿児島市の豊かな自然環境は、私の心身の健康に大いに貢献してくれています。

私は東市来町で生まれ育ったので、自然の中で成長してきたといえます。そして今振り返ってみると、あらためて自然のありがたさや自然のすばらしさを感じられます。

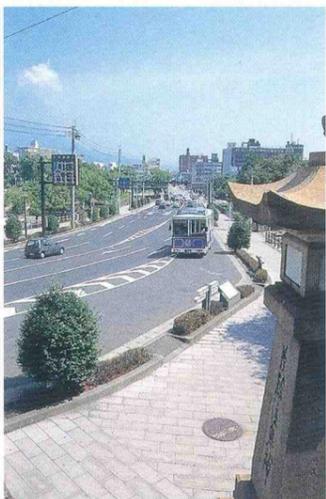
現在、私は城山団地に住んでいますので、暇を見つけては城山の自然遊歩道を歩いたり、付近をウォーキングしたりして豊かな緑にふれています。また、鉢物いじりが好きですから、植物と語り合いながら、静かな一日を過ごすようにしています。鹿児島市の豊かな自然環境は、私の心身の健康に大いに貢献してくれています。



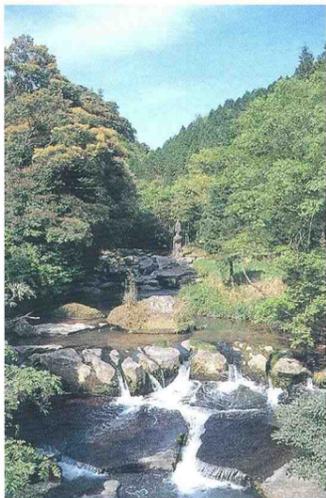
慈眼寺自然遊歩道



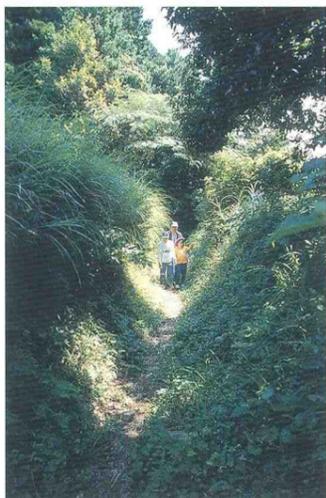
烏帽子岳自然遊歩道



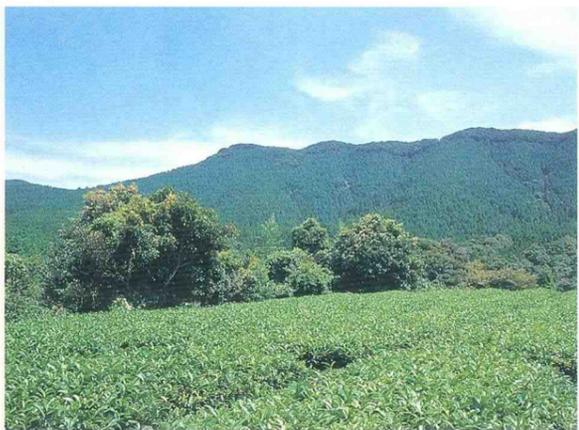
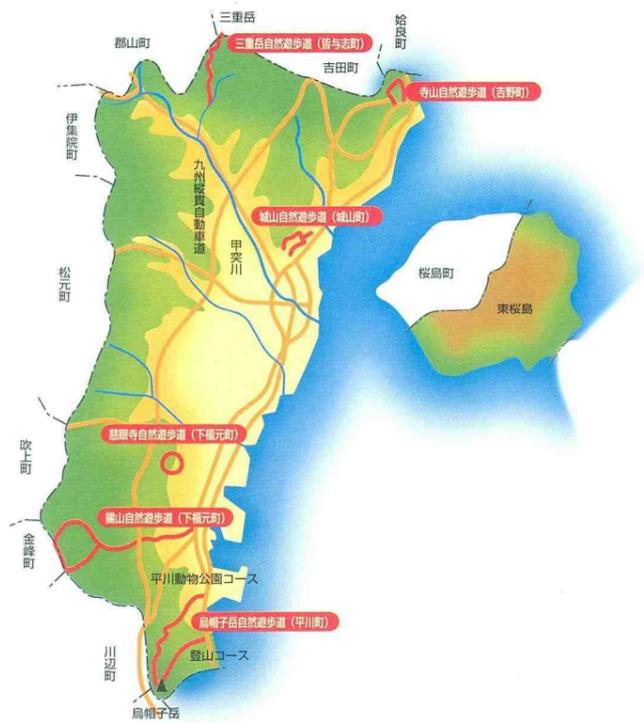
城山自然遊歩道より



錫山自然遊歩道



烏帽子岳自然遊歩道





CLOSE UP

クローズアップ

錦江湾に浮かぶ雄大な活火山「桜島」
今も噴煙を上げるこの山と対峙し、観測を続けている人々がいる
活火山のシステムを解明しようとする鋭い眼差しがそこにあった…



京都大学防災研究所附属火山活動研究センター
所長 石原 和弘さん

PROFILE

昭和22年、鳥取県生まれ。
昭和49年、京都大学桜島火山観測所に着任、
平成7年5月同観測所の所長に就任した。
今年11月に本市で開催される「アジア活火山サミット」では、
基調講演の講師、研究者会議の進行役を務める。

昭和三十年から現在まで、活動を続けている桜島。過去、幾度となく大きな爆発をし、

多大な被害を出してきたこの活火山を観測しているのが、京都大学防災研究所附属火山活動研究センター（桜島火山観測所）である。

昭和三十五年に開設されたこの観測所のスタッフは、職員・非常勤職員・学生・研究生を含めて十六人。この観測所で現在、所長を務めているのが、石原さんである。桜島の第一印象を、石原さんはこう話す。

「桜島に初めて来たのは、ちょうど小学三年生のころ。桜島の引ノ平までバスで上ったらしいんですが、あまり記憶にないですね。噴煙や溶岩について、少し覚えているくらいです。そうそう、フェリーが木造だったことだけはよく覚えてますよ。」

大学では地球物理学を専攻。最初は気象学に興味を持っていたが、火山学の教授との出会いがあり、今の道に進んだ。ここ桜島火山観測所に着任したのは、昭和四十九年。今年で二十五周年になる。

現在、観測所では、桜島南岳火口近くの山腹に長さ二百五十mのトンネルを掘り、そこに観測機器を設置して噴火のときに起こる山頂部分の変化などを観測しているほか、地震観測、薩摩硫黄島・口永良部島・中之島・諏訪之瀬島の活火山観測などを行っている。

「私たちは、地下の構造、マグマが供給さ

れる仕組み、活火山で起こる地震のメカニズムなどを解明するために研究しているんです。これらのことが分かってくると、その成果として活火山の活動について、ある程度の予測ができるようになります。噴火の予知などは、その一つなんです。」

石原さんは、静かな口調で言葉を続ける。「今までの研究で、噴火のメカニズムに関して、地下十kmより浅いところのことは、かなり分かっています。今後は、地下十kmより深いところの活動、つまりマグマが生まれて地表へ出てくるまでの通り道などについて研究していきたい。」

また、今まで百万年もの間、活動している始良カルデラの活動変遷を調査し、これからの始良カルデラ活動の研究を進めていくための資料などを作成したいと考えています。」

ところで、活火山の研究を進める上で欠かせない視点の一つに、他の活火山との比較がある。

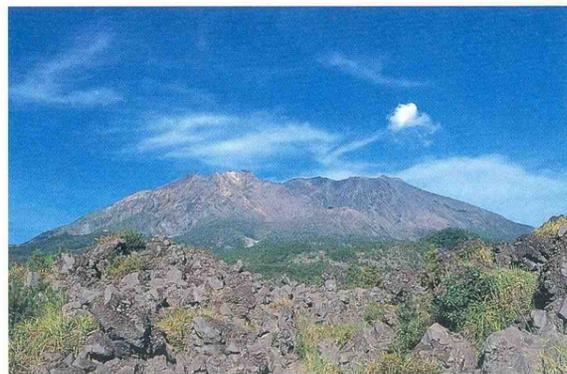
活火山には、それぞれ年齢がある。成長期にある比較的若い活火山である桜島の将来の状況を予測する上で、より年齢の高い活火山の観測データは欠かせない。

また、活火山に共通してみられる現象

をまとめ、普遍的な法則を導き出すためにも、比較という視点は大切なのである。

そこで、活火山の情報交換の場として、本年十一月、本市において、日本はもとより、フィリピン・インドネシア・イタリアの活火山研究者などが参加する「アジア活火山サミット」が開催される。石原さんは、そのサミットにおいて、基調講演の講師、そして研究者会議の進行役を務めることになっている。

「今までの経過をみても、桜島の噴火は必然。私たちは、ここ鹿児島で暮らしていく以上、噴火する桜島と付き合っていくかなくてはなりません。桜島と上手に



今も活動を続ける活火山「桜島」（手前は大正溶岩）

付き合うには、桜島をよく知ることが必要不可欠。今回は、少しでもそのお役にたれたいと思っています。」

活火山の近くに住むときに考えるべきこと、土地の使い方、住まいのあり方、長期的な予知そして活火山といえども過剰に恐れることはないということなどについて話しをしたと思います。」

たばこに火をつけ、深く吸い込んだ後、さらに言葉は続く。「若いときは、桜島のことを知り尽くしてやろうっていう気で、研究をしていました。そして桜島のことにはある程度、分かったつもりではいるんです。しかし、自分はこの山より長生きできない。桜島がこれから何千年、何万年と活動していく姿を、自分では確認できない。それを思うと、非常に歯がゆい気持ちです。」

活火山の活動が弱まり、山が静かになれば、人々は山に近づくようになる。そのうち、過去の噴火の記憶も薄くなり、それと同時に過去の被害についても思い出さなくなる。このことが、次の噴火のときに被害を大きくする最大の原因になる。

石原さんは言う。「活火山が静かにしているときは、次の噴火の準備をしているときなんです。」



世界地図をかたどったクッキー作りに挑戦！

「楽しいですか？」との問いに、尋ねたすべての人から「もちろん！」と答えが返ってきます。



国際交流林間学校

八戸一 HELLO 鹿児島

市内に住む子どもたちと、外国人が参加して、共に楽しいときを過ごした「国際交流林間学校」。集まった外国人は総勢四十四人で、出身国や職業、在鹿年数などはさまざま。ただし「鹿児島が好き」という点ではみんな同じです。

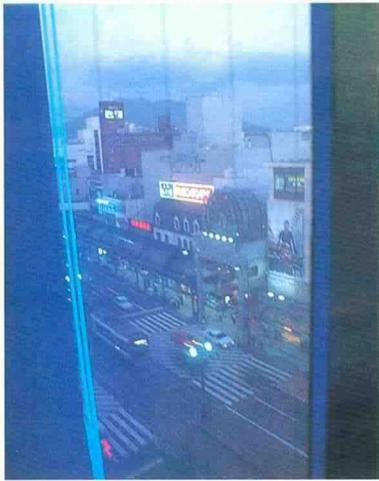
英語指導の先生としてアメリカから来鹿したばかりのナジュワさん。「桜島と「白熊」が好きになりました。これからのいろいろと挑戦して、鹿児島で好きな所をもっとみつめていきたい」と、やる気をみせます。

在鹿五年になる中国出身の陳さんによると、鹿児島島の良さは、人がやさしいところだとか。たくさん子どもたちと触れ合えるこの機会を、毎年楽しみにしているそうです。

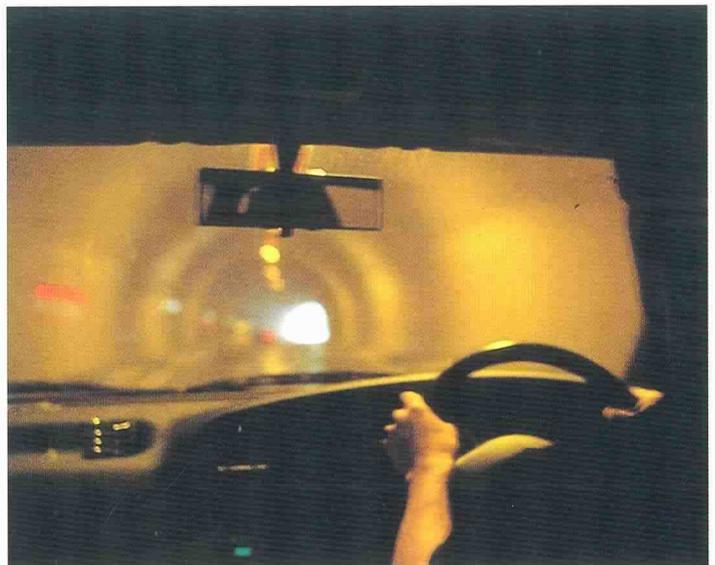
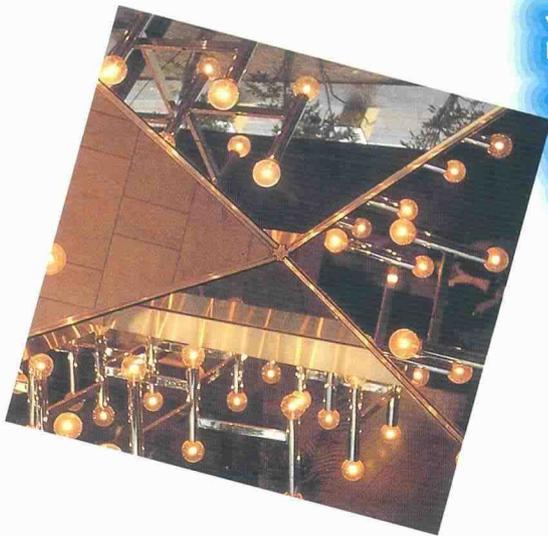
子どもたちと一緒にドッジボールをしたり、クッキーを作ったり、家族や趣味、文化の違い、恋愛についてなど、さまざまな話題に花を咲かせたり。日本語に、時には英語や母国語、ジェスチャーを交えてのコミュニケーションに、随所に笑いも起こり、和やかな雰囲気です。

たくさんの人と出会い、楽しく交流できたこの林間学校。参加した子どもたちにも、外国人の皆さんにとっても、夏の良い思い出となったことでしょう。

シティー CITY
ANGEL アングル



加
入
の
接
点



8月23日 かがしま市消防50の祭典

市の消防発足50周年を記念してかがしま市消防50の祭典がありました。式典では、消防協力者などの表彰や消防音楽隊の演奏のほか、婦人防火クラブや幼年消防クラブによるスローガン宣言も行われ、一層の防火意識の徹底を誓っていました。



8月26日 親子の市営施設見学会

市の仕事や施設について親子一緒に勉強をする、親子の市営施設見学会がありました。河頭浄水場や北部清掃工場などを見学、24時間いつでも安全な水が飲めるしくみや缶・びんリサイクルのしくみなどについて楽しく学びました。



8月29日～9月8日 長才まつり

高齢社会について、各世代間のふれあいを通して考える長才まつりがありました。今回のテーマは「いきいき長寿」。シンポジウムやシルバーファッションショー、島倉千代子歌謡ショー、高齢者作品展など多彩なイベントが行われました。



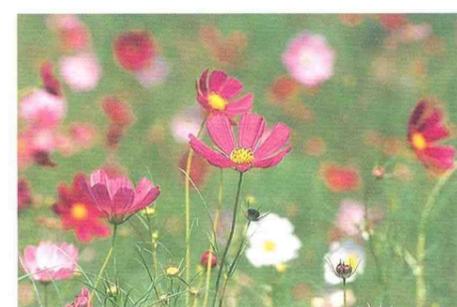
夏の雲(錦江湾公園)



ひまわり(かがしま健康の森公園)



ひまわり(都市農業センター)



コスモス(慈眼寺公園)

カメラトピックス TOPICS CAMERA

7月10日 磯海水浴場海開き

市内唯一の海水浴場「磯海水浴場」が、今年もオープンしました。水しぶきの中、歓声を上げる子どもたち。雄大な桜島を眼前に、波静かな錦江湾での海水浴は最高です。8月31日までの期間中、約7万人の利用者でにぎわいました。



7月25日 かがしま・すくすく・子どもプラン推進大会

市の子育て支援計画を市民に広く知ってもらうために、かがしま・すくすく・子どもプラン推進大会がありました。子育てに関する講演や実践報告、保育園・幼稚園児による発表などが行われ、これからの子育てについての認識を深めました。



7月25日 メルヘンおはなし会

かがしまメルヘン館で開かれているメルヘンおはなし会は、絵本や昔話の語り聞かせなどを通して、メルヘンの世界を楽しむもの。現在、毎月第2・4土曜日の11時から開かれており、多くの親子が参加しています。



8月15日 第二次世界大戦戦亡者慰霊祭

終戦記念日の8月15日に、城山公園内の探勝園で第二次世界大戦戦亡者慰霊祭がありました。遺族や関係者など約250人が参列し、戦争で亡くなられた方々のめい福を祈るとともに、平和の尊さを改めて胸に刻み込みました。



大きくのびる 広げる夢を 大きくのごとく

学校探訪



昼休みの校庭は元気な児童でいっぱい！



2人の先生による効率的な授業(チームティーチング)



一生懸命で汗びっしょり

- 創立 昭和25年
- 児童数 1,038人
(平成10年9月1日現在)



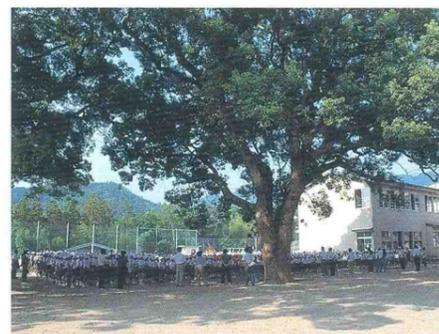
福平小学校



1年生と6年生のふれあいの時間



熱心にパソコン学習



大きくすの木陰で全校朝会



さわやかな1日の始まり



大きな希望をもって心身ともにたくましく！

福平小学校の朝は、校長先生との明るいあいさつで始まります。歩道橋の前で校長先生が、「おはよう。おはよう。」と明るく元気な声で私たちに声をかけて迎えてくださいます。そのおかげで、私たちは毎日明るい気持ちで過ごすことができます。

校区には国道226号とJR指宿枕崎線が走っています。また、鹿児島市内が見わたせる錦江湾公園や県内の子どもたちに親しまれている平川動物公園、その近くには平川浄水場があります。またサンライフプールも近くです。

福平小学校の福平という言葉は、下福元町の「福」と平川町の「平」を合わせて名前がついたそうです。私たちの学校の自慢は、「一本の大きな「くすの木」です。夏の暑い日は、この木の陰で全校朝会をするぐらい大きいのですよ。くすの木は、百年も前から私たちの学校生活や一人一人の成長を一日も欠かさず見守ってくれています。みきに耳を付けると福平小学校の歴史を語りかけてくれそうです。

もう一つの自慢は、地域にいろいろな施設や工場、史跡などがあるので、それを利用した体験学習があることです。地域に住むいろいろな人から学ぶことは、教科書では学べないことが多いのでとても楽しみにしています。

このように、鹿児島市の中でも恵まれた環境にある福平小学校で、私たちは、校訓「希望」の下、「かしくく なかよく 元気よく」を合言葉に、大きい「くすの木」に見守られながら、これからもみんなで助け合い、はげまし合って学習していきたいと思っています。

「おおくす」に見守られて

六年 鮫島 麻美

私の好きな場所



谷山の文化を育てる会会長 木原三郎さん

道と人と自然のなかを 歴史と文化を育みながら

長太郎焼は、実は、洋画の重鎮黒田清輝により、命名され
発展してきた、特色のあるよい窯場なんです。
さて、次の散歩道は、自然豊かな慈眼寺自然遊歩道に
行ってみましょうか。

慈眼寺自然遊歩道(下福元町)

慈眼寺自然遊歩道は、慈眼寺公園に入り、清水の流れ
る和田川づたいに、ソーメン流しやさくら広場を通って、
コスモス園、緑のトンネル、ふるさと考古歴史館を見な
がら、イタリァ式水階段を上がって、谷山神社に至って
います。

この慈眼寺は、市の名勝として文化財に指定されており、
十八代島津家久親子も一年中訪れていたといわれてい
ます。今も、春は桜、夏はソーメン流し、秋は紅葉と知ら
れているところです。

私も自然の四季折々を楽しむために、この遊歩道をよ
く散歩をしてきましたが、数年前営林署があつた場所を、
公園として整備されること、その公園内に、歴史と考古
学の博物館が建設されると伺い、楽しみにしていました。



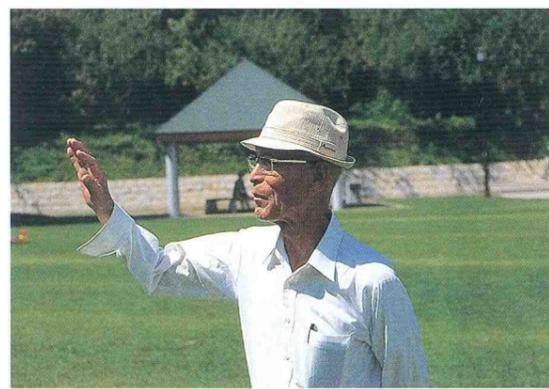
こねて、炎を通して、出来上がるとは、人生に似てますよね。
長太郎焼にて

というのも、私はこの公園内のソーメン流しを運営
している谷山観光協会の開発委員を務めていますので、
公園が整備され博物館が建設されると、この場所に人々
が集まり、さらにソーメン流しへ来るお客が増えるで
あろうとたいへん喜びました。

その公園と博物館が完成しました時、想像をはるか
に超えたその出来栄えに目を見張りました。

公園は、多くの木々を残し、元の自然を生かした並木道
明るい芝生の広場、化粧直しをした水の流れるカスケ
ードなど素晴らしい造りになっています。

またふるさと考古歴史館は、最新の機器やジオラマ、
模型などを駆使して、子どもから大人まで、楽しみながら、



この由緒ある地がこのように整備されるとは
思ってもみませんでしたね。
～慈眼寺公園広場にて

わかりやすく歴史や考古学を解説している手法は、こ
れまでの博物館の展示の方法を変えた斬新なものです。
私は今でも、このふるさと考古歴史館で郷土史の講
義をすることがあるんです。

私の好きなこの場所が、ソーメン流しと四季折々の
自然、整然と整備された広場に考古歴史の殿堂がある
公園として、谷山の名所になっていると思います。



長い道のりのように見えますが、これが楽しいん
ですよ。
～谷山緑地公園にて

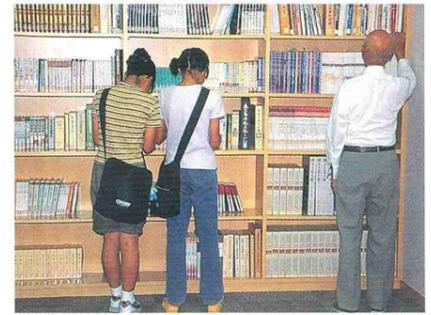


谷山緑地公園(谷山中央二丁目)

自宅近くにあるこの谷山緑地公園は、私にとって健康
のための散歩道であり、思索をするのによい道なのです。
私が、いつもの時間に、いつものように、散歩をしますと、
いつも同じように歩く人達に出会い、あいさつや言葉を
交わすんです。最近、会わない人の話や人と人との会話
の中に、近隣の温かさや人とのつながりというものを感
じて、大きな歴史の中の自分を感じるんです。

思えば、戦後、住み始めた現在の所は、昔は海岸でした。
今、こうして車道の緩衝地帯としてできた谷山緑地公
園ですが、私には、日々の暮らしのなかでなくてはなら
ない、私の生活の一部なんです。

生活と言えば、戦後、公職追放により仕事がなかった時、
長太郎焼に弟子入りしたんです。その当時は、二代目長
太郎さんで、いろいろ指導を受け、ロクロ造りも稽古を
して、南日美展にも十回出品し、毎回入選していました。
その後、全国の窯場巡りをして、長太郎焼の特色は、谷
山の土と谷山でとれる釉薬によるものであるとわかっ
てきました。



本は私の友達ですので、書店回りを欠かした週はないです。
ふるさと考古歴史館図書室にて



【取材メモ】

木原三郎さんは、出水の麓で少
年時代を過ごされました。
終戦後、おかあさんの郷里に引
き揚げてきたそうです。
この母親の郷里、谷山に住み、
郷土に興味を持ち、暇をみては調
査したと伺いました。このような
実績が、谷山の歴史と文化に欠か
せない存在である現在の木原三
郎さんを形作っているのではな
いでしょうか。

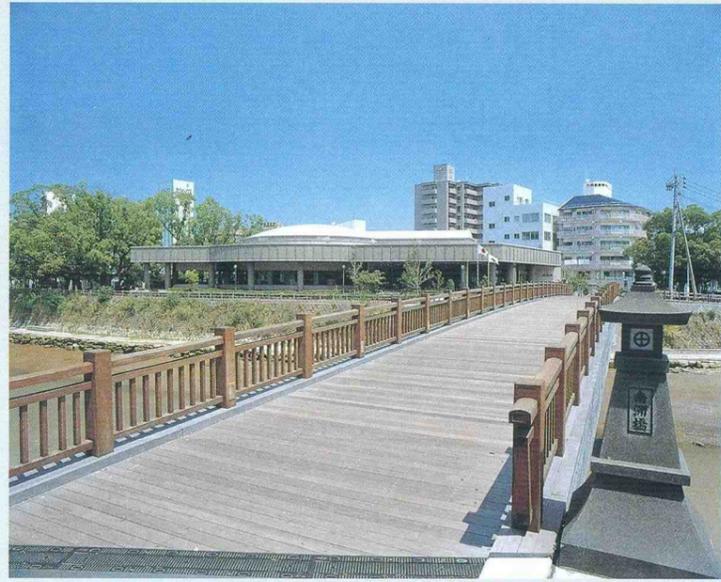
郷土の調査・研究の結果は、い
つか周りの人々が知るところと
なり、これまで、鹿児島市文化財
審議会委員を十五年間務められ
現在、谷山市民会館などの郷土史
の講師を、また、鹿児島史談会や
谷山史談会の世話役も務められ
ています。
郷土への興味と愛着の成果と
して、「谷山市誌」「錫山鉱山史」「陶
工有山長太郎」、「谷山の歴史と文
化財」、「各校区史」愛加那記な
どの多くの著書を残しておられ
ます。
現在、県民俗学会や県石塔研究
会などに所属し、相変わらず、婦
人学級や成人学級の講師として
ひっぱり出されています。その歴史、
民俗、文化に精通した講話は、親
しみやすく、わかりやすいと定評
があります。
薩摩ならではの郷中教育を受
けながら、育ちましたとお話され
る人生の先輩は、取材中も礼儀正
しく、年下の若い人たちの意見に
も耳を傾ける心の豊かさを、会っ
た温厚な人柄であることを、会っ
た際に感心させられました。
出水中、京城師範学校卒。
谷山中央二丁目、敏子夫人と
二人暮らし。
当年八十歳。

ふるさとの歴史探訪

なぜ、西郷・大久保は偉いの？

郷士の英傑 西郷さん、大久保さん。日本でも指折りの偉い人だと小さいころから聞いてきた。
ではどうして、西郷さん、大久保さんは偉いのだろうか。
江戸幕府を倒し、明治の世を開いたから？陸軍大将・元帥や明治で最初の実質的宰相となるなど、中央政権で高い地位にいたから？
しかし、これらの「偉さ」には、「昔のことでしょう」という無関心さが用意されている。
現代的な視点でも色あせない、いやますます重要となる、大事な部分がありそうだ。
今号では、明治維新後の二人の動きを追いながら、二人が今日の我々に投げかけてくる「偉さ」について考えてみたい。

西郷と大久保 (明治維新後)



アンティークな南洲橋から維新ふるさと館を望む

維新ふるさと館 TEL 239-7700

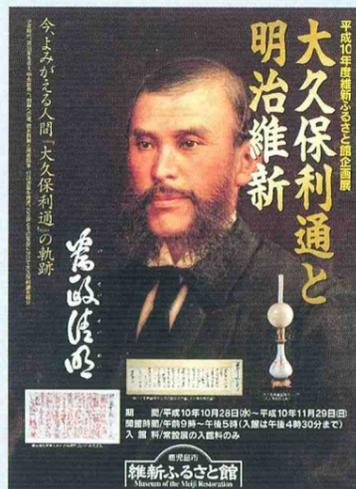
薩摩(西郷)は天下を取らなかった

明治維新という大仕事をほとんど独力で成し遂げた西郷と大久保。殊に、人格的魅力で日本を一つにまとめた西郷の声望は日に日に高まっていった。

薩摩(西郷)が次期將軍となり、天下を取るのではないか。そういう見方が当時の日本に渦巻いていた。これまで権力を握ったものが、天下に号令をかけるのが暗黙のルールであった。現に西郷を、建武新政を打ち破き、武家政権を樹立した足利尊氏の再来であると、用心する者もいたのである。

西郷はそんな世間の空気をよく察し、成程の役が終わると、兵をまとめて、国元に引き揚げた。明治維新が、薩摩が天下を取るという覇権交代ではなく、近代国家づくりであることを身をもって天下に示したのである。

一方、大久保は実務家としての腕を存分に発揮し始める。近代国家への第一歩となる版籍奉還(諸藩の領地・領民の天皇への返上)を見事成し遂げた。



大久保利通と明治維新

今よみがえる人間 大久保利通の軌跡

維新ふるさと館企画展
大久保利通没120年を記念して、10月28日～11月29日、大久保の人間像に迫る企画展が開催されます。ぜひ、ご覧ください。

天皇を中心とする新国家をスタートさせた明治政府は大きな壁に直面していた。依然として各地に大名が割拠し、新国家独自のお金も兵隊もほとんどない状態なのである。大久保ら政府首脳部はある決断を迫られていた。「廃藩置県」である。藩を廃止して、行政区画としての県を置き、日本を名実ともに一つの国にする。

大革命は一言で決した

郷里での西郷は山野を駆けめぐり狩りを楽しむ生活をしてきた。新政府の運用については、能力のある人間がふさわしい仕事をすればいいと、名利に恬淡としていたのである。

しかし、時代はまだ、西郷の力を求めていた。

の革命である
「西郷の力を借りないと、できる代物ではない。」
皆そう思った。

この相談があつた時、西郷の胸を去来したものは何だったのか。武士に対して一-倍の愛着を持っている西郷である。郷里の武士や今は亡き同志の顔が浮かんできたに違いない。

しかし、西郷はそれらを振り払うようにわが方(薩摩藩)は大丈夫です。ときつぱり断言した。また、「反対する勢力があれば私が討伐しましょう。」とも言った。この一言で、大革命は成った。西郷の威望の下、廃藩置県は支障なく断行された。

廃藩置県により、真の意味での近代国家が創られた。まさに西郷こそ近代日本の父。しかし、西郷は一方では没落する士族に対して心を痛めることになる。一見矛盾する西郷の行動と心。しかし、西郷は理屈抜きで武士が好きだったのである。人間として信頼できるのはこの連中だと思っていた。
そしてこのことが次なる波らんを呼び起こそうとしていた。

国家百年の大計をめぐる

明治四年、大久保は一年半にも及ぶ欧米の視察に出かけた。列強の政治に触れていく中で、大久保の心中にはつきりと近代日本の青写真が浮かび上がってきた。「富国強兵」「殖産興業」この二つを政府主導で達成する。そして、主権国家を築き上げる。一身を賭けて突き進もうと決意したのであり、この大



西郷薩摩盛肖像(服部英電画) ~黎明館蔵~

久保のやり方は綿々と昭和・平成まで続き、現在の日本を造り上げることになる。
一方西郷である。東京に出てきた西郷の目に映つたのは、ぜいたくな家屋に住み、はでな遊興を繰り返す新政府の役人たちだった。西郷はがく然とした。「何のために、多くの血が流れたのか。倒した徳川家にも申し訳ない。」
嘆きの中で、西郷には西郷なりのビジョンが出来上がっていく。それは武士の精神と愛国、奉仕、自律を国民全体に広げようとするもの。特に薩摩士族において多く見られたこの武士の精神こそが、欧米文明に比べても輝きを失わない日本の宝だと思つたのであつた。
そんな時に、鎖国を続ける朝鮮へどう対応するのかという話が持ち上がってくる。兵を用いて朝鮮をこらしめるべきとの意見征韓論が主流。しかし、西郷は、使節を送り、よく話すべきだとの考え(遺韓論)。そして、その使節には自分が、と手を挙げたのだった。
西郷は新国家の一番の意義を「正道」に置いていた。政治は結果もだが、やり方が重要。国民が納得できる過程を正しく踏むべきである、と思つていた。これが、現代政治の課題であることを思えば、西郷の偉大さが分かる。遺韓の件でも、西郷は保有する軍隊で脅

かさず、正々堂々と会議で自分の意見を述べたのである。

大久保はこの時、欧米から帰国したばかりだった。二人の不幸は、西郷の遺韓論が征韓論にすりかわって世に喧伝されていたこと。大久保は当然反対。「国力もないのに海外に出兵し、国家を賭け事に使うなど許せない」と怒つたのだった。

会議において西郷と大久保は真っ向から激突した。声望世を覆う西郷に正面から立ち向かった大久保もまた立派だった。彼はこの会議を前に息子に遺書まで残している。大久保も命をかけていたのである。

しかし、西郷遺韓の議は策謀で沙汰済みになつてしまふ。西郷は正道が踏まれなかったことに憤慨し、職を辞し故郷に帰つた。その西郷を多くの若者たちが追いかけた。ついに導火線に火が投じられたのである。

武士の最期

鹿児島に帰つた西郷は、私学校をつくり若者の育成に情熱を傾けた。

政府に残つた大久保は、士族からのパッシングに負けず、次々と近代国家の基礎固めを行つていく。公平で大局を押さえる姿に全国から多くの人材が集まつてきた。

全てが順調に見える新政府のただ一つの頭痛の種が鹿児島であった。私学校を中心にした独自の県政を進め、あたかも独立国の観があつた。大久保は西郷を信じていたので、独自の県政を容認していた。しかし、政府内部では大久保が鹿児島にえこひいきをして

いと批判が集中し、次第に、鹿児島に圧力があつてきた。

そして、ついに明治十年、郷党の若者たちが決起する。西郷は彼らを見殺しにできずに、自らの命を彼らに預けてしまふ。西郷は、戦争に際してなんの指揮もとらずに戦死していった。享年五十一。一方、残された大久保もその八月月後、西郷に折り重なるように不慮の死を遂げる。享年四十九。

西郷と大久保、そして薩摩の武骨な若者たちが死んだことで、サムライの時代は終わりを告げた。日本が世界に誇れるサムライの精神も無私の心、勤勉、勇気、弱者へのいたわりといったものが、この明治十年前後を境に一瞬にして過去のものとなつた。

それから日本人は何かと身軽になり、経済を中心に異能を発揮する。しかし、一方では何か途方もなく大事なものを失つてしまつた。それが何なのか。それは皆さん自身で西郷と大久保から探し出してください。



西南戦争錦絵

~黎明館蔵~

(一)



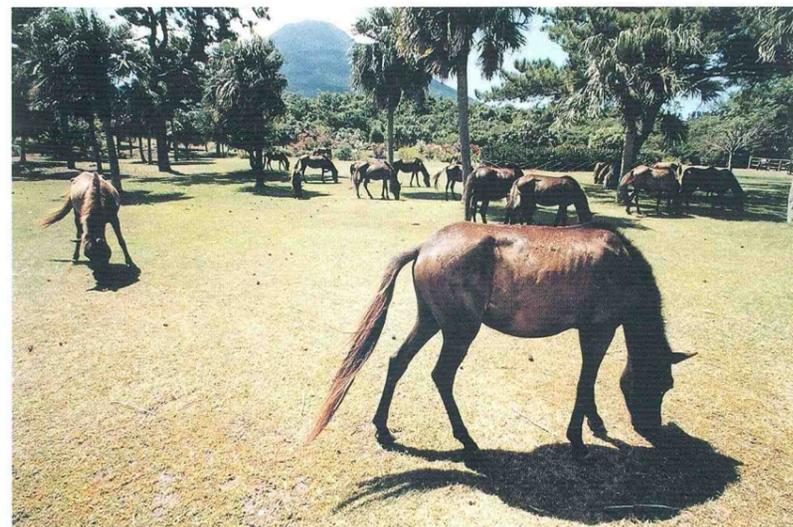
秋

AUTUMN



春

SPRING

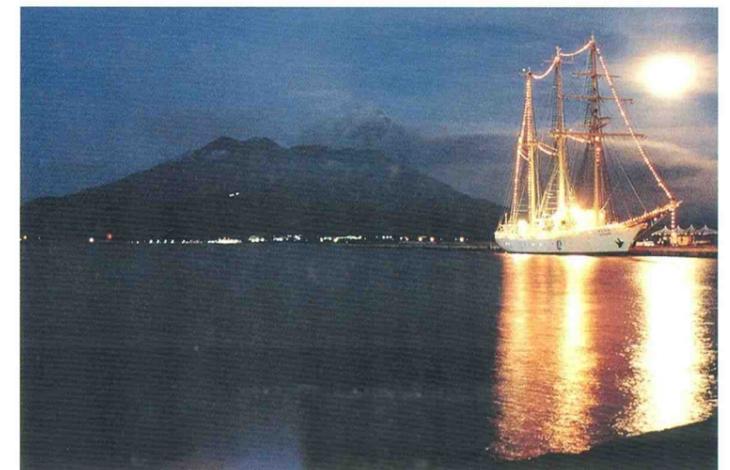


ISO40 **あなたのフォトサロン**

写真 谷 清美 さん
春夏秋冬かごしま

夏

SUMMER



冬

WINTER





タイムよか

マジック

よし まさ
濱田快政さん

よかタイム7つの質問

Q1 始めたきっかけは？

六年ほど前、新聞に載っていた手品教室を受講しました。それ以来、マジックのとりこになりました。

Q2 マジックの魅力は？

見る人に驚きと楽しさと感動を与えられることです。その場の雰囲気か和み、明るくなり、みんなに喜ばれる、それが、たまらないですね。

Q3 どんなどころで披露されるんですか？

年に数回、仲間と福祉施設や病院を訪問したり、催しもの出演したりして見ているだけです。

Q4 どんなどきに、やりがいを感じますか？

見ている人の反応が素早く返ってきたときですね。何よりも、拍手が一番うれしいです。「おもしろかった。また来て！」の言葉も、ありがたいですし、元気が出ます。

A4 そんなに打ち込んでいるのは、なぜ？

学んだ技術を基に、アレンジやパリエーションを工夫するのが好きなんです。少しでも新しい技、一味違った芸をお目にかけて、という気持ちで取り組んでいるからでしょう。

Q6 家族の理解は？

本番前の一週間は、自宅で猛練習しますが、家内が観客の側から素人の目で、気付いたことをアドバイスしてくれます。とても助かります。

Q7 これから始める人へ一言

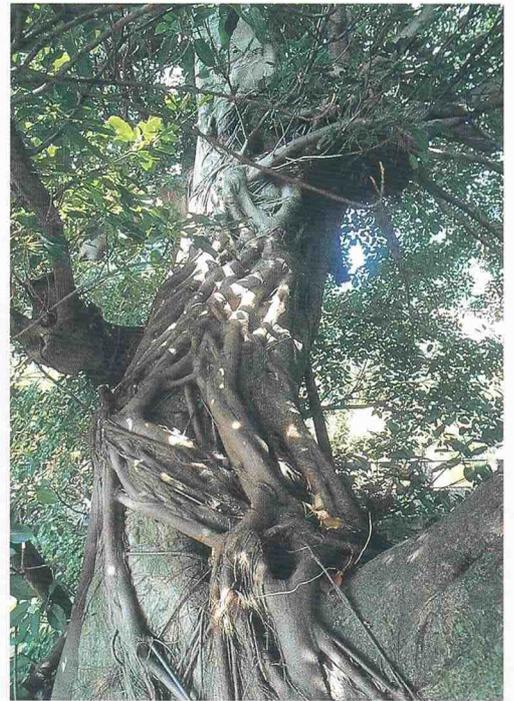
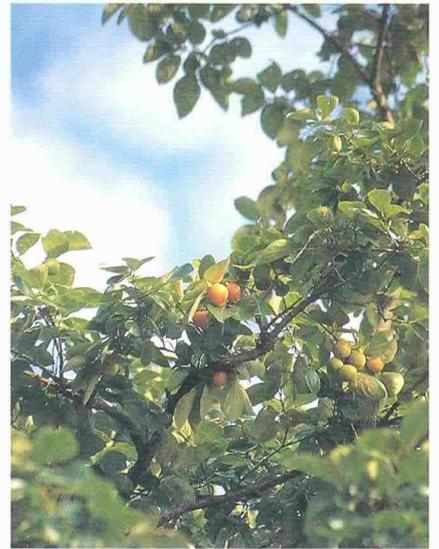
何よりもマジックを好きになってください。それに、上達するには、かなり時間がかかりますので、技術の習得や向上へのたゆみない努力、意志の強さが欠かせませんよ。



「普段からポケットにコインをしのばせ、たえず指先の訓練を心掛けています」と温和な顔で話す濱田さん。この日は、本番さながらリズムカルに巧みに演じてくださいました。ボランティアの心を多くの人がひとに届けるガンバリ屋さんに声援を送りたい気持ちになりました。

かごしまの自然

平松・竜ヶ水にて

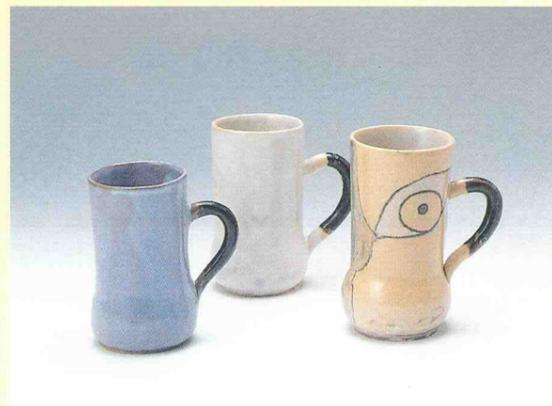


新波は人あり 若くはの
つねゆゑの心は ちか
ちかわくわく
大迫 洋子さん

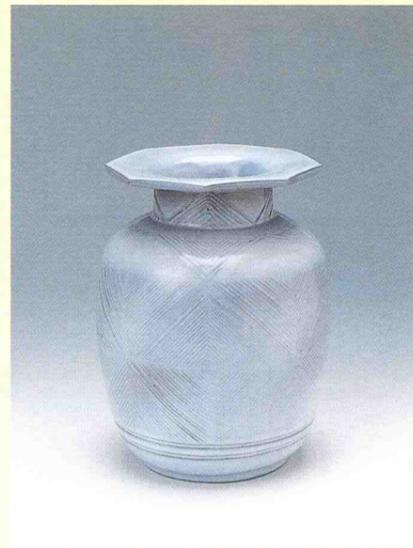
大迫 洋子さん

わくわくわくわく
あはれあはれ
あはれあはれ
あはれあはれ
相良 清子さん

相良 清子さん



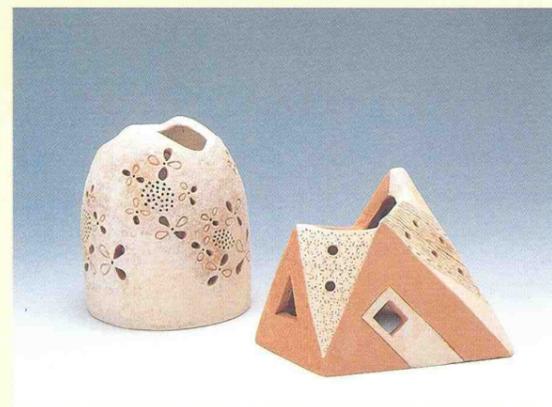
「フリーカップ揃」 妹尾 司さん



「藁灰釉彫文花器」 桑元 寛さん

萬巻曲
肱裏
床次 栄子

床次 栄子さん



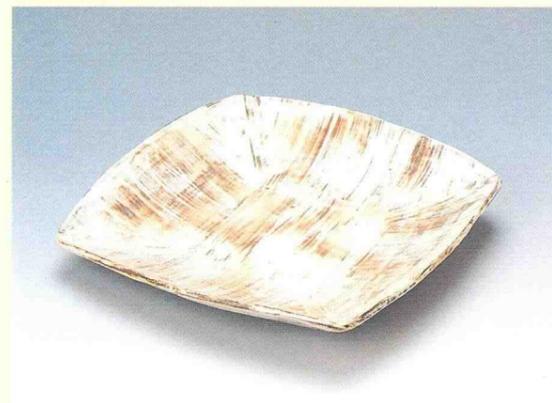
「照明器」 山元 ますみさん

陽春布
埴
弘景 本

栢木 精一さん

枯葉擁
破驛
大保とよみ

大保 とよみさん



「粉引角皿」 桑幡 直子さん



「塩釉花器」 宮崎 知恵さん

今回は、武・田上公民館の陶芸「永陶会」と書道「書友会」の作品を紹介いたします。

「永陶会」は、永田哲勝先生の指導のもと、毎月第二・四木曜日に活動しています。

公民館の初心者陶芸講座の修了生が、「引き続き学びたい」との熱意のもと、昨年結成したばかりのグループです。

当初二十六人だった会員は、現在四十人。「みんな熱心で、自宅でも創作に励んでいます。作品の感想など意見も交わしながら、楽しい交流を図っています。」と会長さん。

今年の十月で結成一年。それぞれの個性を發揮し、さらなる技能の向上を目指す、皆さんの意欲は、ますます盛んです。

武・田上公民館
市民ギヤラン
自主学習グループ

「書友会」は、森尾國男先生の指導のもと、毎月第一・三木曜日に活動しています。

会員は、二十代から八十代と幅広い年代で、初心者からベテランまで現在十七人。公民館講座の修了生がほとんどです。

「書くことが好きな人たちの集まりです。」と会長さん。また、「どんな字にしようか...と考えるながら、墨をすり、心を落ち着ける時間というのも楽しい。」と。

静けさに緊張感が漂うなかにも、先生のユーモアあふれるお話しなど和やかなひとときも。展覧会などへの出品を節目にしなが、皆さん作品づくりを楽しんでいます。

ふれあいの中で広がる新たな世界、皆さんの作品をどうぞご覧ください。

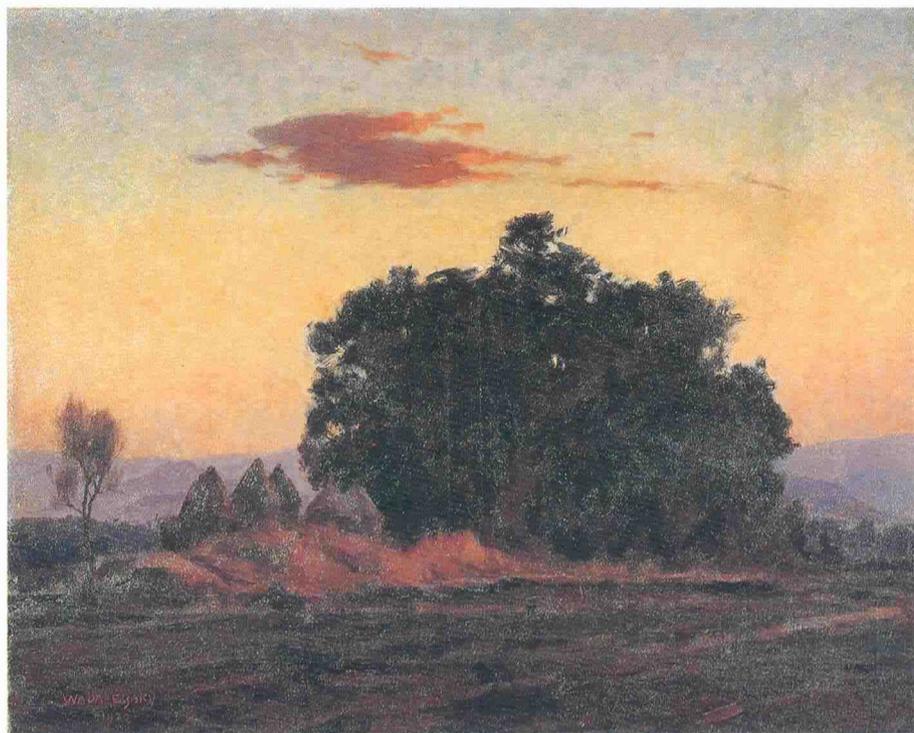
市立美術館

田園の夕暮

大正9年(1920年)

油彩・キャンバス

サイズ たて65.2cm×よこ80.3cm



作家 和田 英作(1874~1959)

日本近代洋画の発展の基礎を確立した巨匠。明治7年に垂水市で生まれる。13歳ごろから洋画を学びはじめ、曾山幸彦や原田直次郎らの指導を受ける。20歳の時に黒田清輝を訪ねて彼の天真道場に学び、白馬会の結成に参加するなど、洋画新派の代表的な画家として活躍する。

22歳の時、開設されたばかりの東京美術学校西洋画科の助教授に任命された。しかし正規の課程を経ずに、いきなり教官になるのは心苦しいと申し出て、翌年依願退職となる。そして当時の校長であった岡倉天心の計らいにより、和田のために特別に設けられた4年級に編入。卒業制作「渡頭の夕暮」を提出して同校を卒業するという筋を通した。これは、和田の誠実で律義な人柄を示すエピソードとして知られている。

明治32年から4年間の滞欧生活を送った後、東京美術学校教授となる。さらに文展(現在の日展)審査委員にも任命され、昭和18年には文化勲章を授与された。晩年は清水市に移り、好きな富士山を描いた。昭和34年、85歳の生涯を閉じる。

作品解説

この作品には、日本の田舎に行けばどこでも見られそうな風景が描かれている。こんもりと盛り上がった木立と、その傍らには積み藁がある。遠景にはなだらかな山並みが連なり、空は夕暮れ時の黄色から茜色に変化する微妙な色彩を呈している。もう間もなく、この風景はどつぷりと夜のとばりに包まれるであろう。

和田英作は、日本の風土を卓越した写実技法で情感豊かに描き上げた。彼の代表作「渡頭の夕暮」は、一日の農作業を終えて川岸にたたずむ一家の様子を描いたものであるが、そこにも赤く染まった夕焼け空が描かれ、画面に叙情的な雰囲気をもたらしている。

以来、和田は暁や夕暮れ時の微妙な色彩の変化を描き分けることに自信を深め、多くの作品を描いた。この「田園の夕暮」にもその特徴がよく表れている。自然主義的傾向における日本洋画の典型的な様式を示す作品と言えるだろう。

市立美術館では十一月三日まで、「鹿兒島が生んだ洋画壇の巨匠・和田英作展」を開催している。「田園の夕暮」もその出展作の一つである。

市立美術館学芸係長 山西 健夫

消費生活センター

市営施設 見学会 誌上



市消費生活センターは、消費者のより良いパートナーとして、多様化・複雑化する消費生活に関するさまざまな問題をあなたとともに考える場です。

困ったときのよき相談相手。
一人で悩まずに、
まずご相談ください！

●消費生活相談

消費生活のことで

おかしいな

困ったな

納得がいかない

情報が欲しい

と思ったらご相談ください。

専門の相談員が、適切なアドバイスをします。



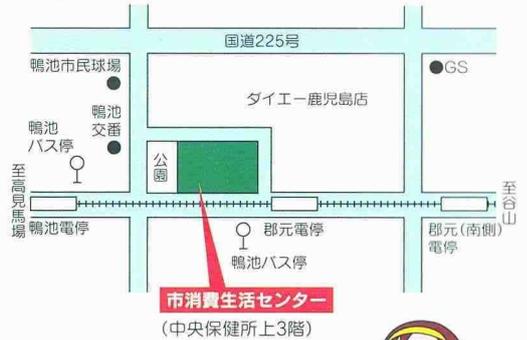
利用案内

●開館日時

月曜日～金曜日 9時～17時

※ただし、休日、年末年始(12月29日～翌年1月3日)は休館。

●場 所



●交通案内

- ▶市電郡元電停下車 徒歩1分
- ▶市営バス・鹿児島交通 鴨池バス停下車 徒歩1分

●市消費生活センター

〒890-0063 鴨池二丁目25-1-31
258-3611・252-1919(相談コーナー)



<市消費生活センター フloor図>



●参加してみませんか！ 消費生活に関する研修講座

センターでは、暮らしに役立つ講座を開講しています。今後の開講予定など、詳しくはお問い合わせください。



●消費生活に関する情報を直接体感！ 展示コーナーへようこそ。

衣・食・住に関する情報、契約問題、悪質商法、物価情報など、幅広い情報をパネルなどでわかりやすくお伝えします。

●グループで消費生活に関する情報交換などを行う場として、サークルコーナーを設けています。



●こどもの部屋(託児室)もあり、お子さま連れでも安心して研修やサークル活動に参加できます。

●図書・ビデオを貸し出しています！

消費生活に関する図書・ビデオの貸し出しも行っていきます。市民ならどなたでも利用できます。ぜひ、ご利用ください。



●消費生活出張講座のご利用を！

センターでは、市内の老人会などを対象に、専門の相談員による消費生活に関する出張講座を実施しています。詳しくは、お問い合わせください。

アジア活火山サミット

ASIAN ACTIVE VOLCANO SUMMIT KAGOSHIMA

「火山、人、まち」をテーマに、火山との共生、火山を生かしたまちづくり

について話し合います。



火山、人、まち

- 参加都市：
北海道上富良野町（十勝岳）、北海道壮瞥町（有珠山）
東京都大島町（三原山）、長崎県島原市（雲仙普賢岳）
熊本県阿蘇町（阿蘇山）、鹿児島市（桜島）
フィリピン：サンフェルナンド町（ピナツボ火山）
インドネシア：スレマン市（メラピ火山）
イタリア：ナポリ市（ベスビオ火山）※オブザーバー
- 関連イベント：
・活火山のあるまちパネル展 ・まるごと桜島展
・桜島コンピューターグラフィックスコンテスト
・海外留学生等交流会 ・画家たちの見た桜島展
・炎と祈りの縄文文化展 ・おはら祭 など

■ 基調・特別講演

11/1日

13:00

■基調講演
京都大学防災研究所附属火山活動研究センター
所長 石原和弘 氏

■特別講演
ベスビオ火山観測所
所長 ルチア・チベッタ 氏

■特別講演
登山家・医学博士 今井通子 氏

●市民文化ホール

■ 研究者会議

11/1日

16:00

フィリピン火山地震研究所
インドネシア火山調査所
ベスビオ火山観測所
京都大学防災研究所（桜島観測所）
東京工業大学（草津白根火山観測所）
鹿児島大学など関係者

●城山観光ホテル

■ 公開講座

11/2日

9:00

伊藤和明 氏 … NHK解説委員・文教大学教授
平林順一 氏 … 東京工業大学教授
リカルド・ブノンバヤン 氏
… フィリピン火山地震研究所長
ウィンビー・チェチェップ 氏
… 前インドネシア火山調査所長
南 哲行 氏 … 建設省土木研究所砂防研究室長
大園純也 氏 … 南日本新聞社専務取締役

●城山観光ホテル

■ 火山都市サミット

11/2日

13:00

赤崎義則鹿児島市長ほか参加自治体の
市長、町長。

コーディネーター
伊藤和明 氏

申込方法

入場整理券のお申し込みは、住所・氏名（2人以上はそれぞれ）、
区分（講演、公開講座、サミット）を明記の上、はがきまたは
FAXで事務局までお送りください。《10月20日必着》

■ 主催 アジア活火山サミット実行委員会

[鹿児島市、桜島町、鹿児島商工会議所、谷山商工会、鹿児島経済同友会、南日本新聞社、鹿児島新報社]

後援 日本火山学会、土木学会、建設省、鹿児島地方気象台、鹿児島県、京都大学、鹿児島大学、垂水市、福山町、輝北町、
NHK、MBC、KTS、KKB、KYT、エフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム

●問い合わせ アジア活火山サミット実行委員会事務局(〒892-8677 山下町11-1 市企画調整課内)

☎ 224-1111内線2012 FAX 224-9879